

令和五年度小学校第四学年国語正答表

4				3			2			1						大問	
四	三	二	一	三	二	一	二	一	五	四	三	二	一	中間			
											(2)	(1)	(2)	(1)	小問		
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	通し番号
<p>【例】(食べ物がミラクルをおこしたことをきっかけに、人間は、くふうを重ねてきました。このくふうのおかげで、えいようを高めたり、あじをよくしたりして、わたしたちの食生活がゆたかになったのです。)</p>	<p>千しゆるいものチーズが作られています。</p>	2	3	<p>【例】ああ、ひばりさん、がんばって。わたしが、ついているよ。だから、元気を出して。</p>	<p>【例】「ひばりさん、元気を出して。」は、大きな声ではげますように読み、「ああ、わたしは何もできない。」は、小さな声でつらそうに読みます。友だちであるひばりさんをはげましてあげたいのに、見ているしかなくてつらいからです。【例】ゆっくりと悲しそうに読みます。ひばりさんを助けてあげたいのに、花である自分は何もできなくて、悲しいからです。</p>	2	3	4	2	2	1	4	農業	速	めいぶつ	そだ	正答
<p>○文末は、敬体・常体とも可。 ○「食生活がゆたかになった」という内容を書いていること。</p>				<p>○同意可。 ○ひばりに話しかけるように書いていること。</p>	<p>○読む工夫と理由に整合性があること。 ○なぜそのように読むのかという理由を、想像したひなぎくの気持ちを取り上げて書いていること。</p>				○完答。				<p>○とめ・はね・はらい等の誤りは許容。</p>				備考